

## (仮称) 国際工芸美術館実施設計の進捗状況について

(仮称) 国際工芸美術館実施設計の進捗状況について報告します。

### 1 実施設計の進捗について

本年4月から、実施設計を再開しております。

地域の方々から「2つの美術館を一体化するエレベーター棟をより良い計画にして欲しい」とのご要望に対して、検討を行いました。5月にはエレベーター棟の変更計画が決定したため、整備計画説明会にて広くお示ししました。

また、基本設計の内容を基に、建物全体の構造や給排水衛生設備、空気調和設備、電気設備などの設計を進めてまいりました。

現在は、実施設計図面を基に、建築基準法に基づく官公庁への申請手続きを行っております。

今後、より詳細な実施設計図面の作成を行い、工事費を算出するための積算業務を進めてまいります。

### 2 工事費精査の検討状況について

#### (1) 急激な物価上昇による工事費の増額要素について

現在も急激な物価上昇が続いており、今後(仮称)国際工芸美術館整備工事への影響が予想されます。

一例として、(一般財団法人)建設物価調査会の建設物価「主要資材価格推移表」から資材価格が大きく上昇したものを抜き出すと硬質ポリ塩化ビニル管、複層ガラス、構造用合板、せっこうボード、異形棒鋼等があげられます。

上記項目の上昇率は以下のとおりです。

資材名	単価		上昇率 (b-a)/a (1年間)	単価	上昇率 (c-b)/b (4か月間)
	a	b		c	
	2021年4月号	2022年4月号	2022年7月号		
硬質ポリ塩化ビニル管	3,410 (円/本)	3,730 (円/本)	9.38%	3,930 (円/本)	5.36%
複層ガラス	5,780 (円/㎡)	5,780 (円/㎡)	0.00%	6,530 (円/㎡)	12.98%
構造用合板	990 (円/枚)	1,680 (円/枚)	69.70%	2,000 (円/枚)	19.05%
せっこうボード	280 (円/枚)	280 (円/枚)	0.00%	350 (円/枚)	25.00%
異形棒鋼	79,000 (円/t)	102,000 (円/t)	29.11%	121,000 (円/t)	18.63%

## (2) 工事費の減額見込みについて

### ア 外壁仕上材

- ・基本設計時は、収蔵庫棟の外壁仕上材として「GRCパネル」を採用していました。その後の検討により、「陶板タイル」に変更することで、工事費が約 6,500 万円程度減額となる見込みです。

### イ 建物東側スロープ

- ・バリアフリールート of 整備にあたり、公園内の高低差を解消するエレベーターについては、来園者や近隣住民の方々にとってわかりやすく、自転車も利用可能なエレベーターを、両美術館を一体化するエレベーターとは別に計画することとしました。
- ・そこで、基本設計時に、自転車も利用可能なルートとして計画していた（仮称）国際工芸美術館屋上と公園内の階段を繋ぐスロープ（工事費約 1 億円）は取りやめることとしました。
- ・スロープの中止に伴い、（仮称）国際工芸美術館の屋上と園路を繋ぐ階段を新たに設置し、建物東側の緑を緩衝帯とする計画としていますが、詳細な工事費については、今後算出してまいります。

### ウ その他

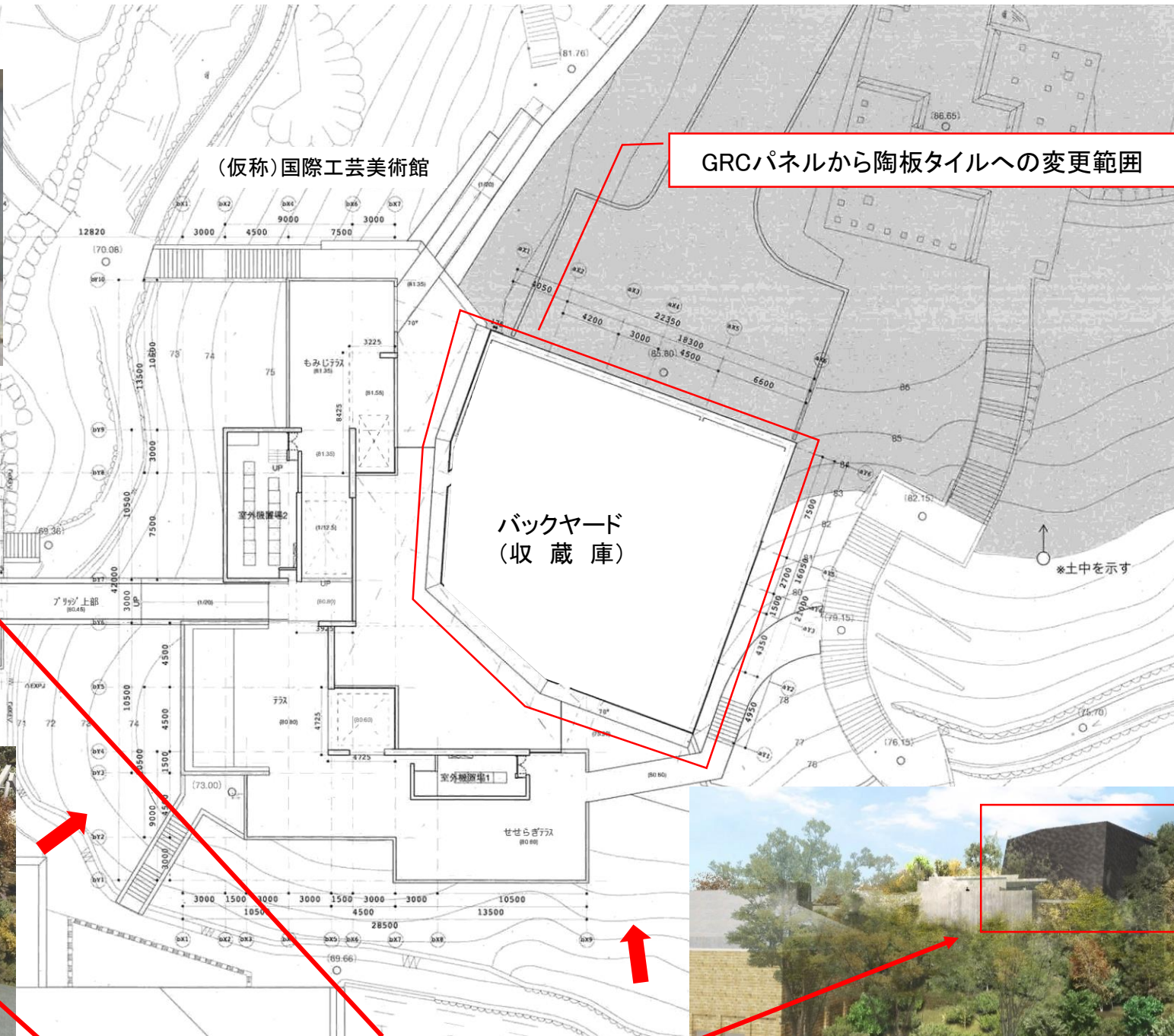
- ・その他の項目として、外装部の塗装仕様や防水仕様、内装タイルの仕様等について変更することで、工事費の減額を行うよう検討を進めています。

外壁仕上材の変更について

工芸美術館ロビー部内観パース



GRCパネルから陶板タイルへの変更範囲

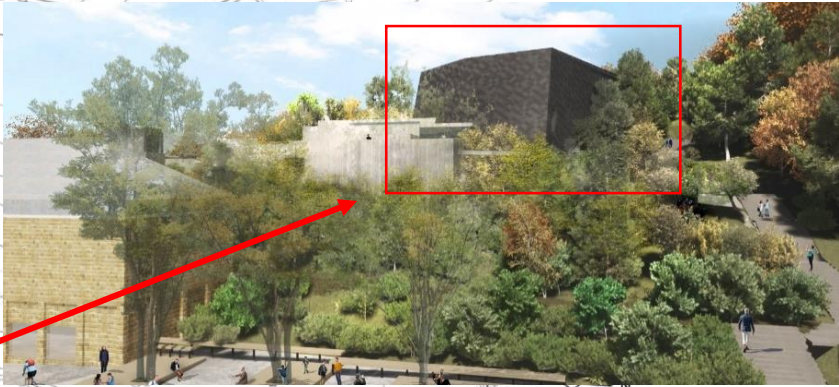


町田市立  
国際版画美術館



工芸美術館外観パース①

GRCパネルから陶板タイルへの変更範囲

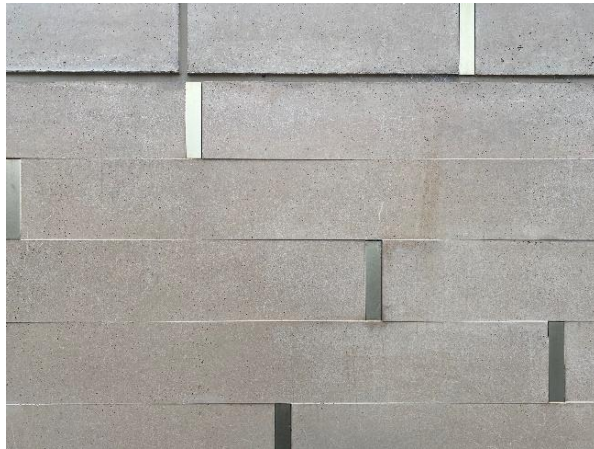


工芸美術館外観パース②



## GRCパネルから陶板タイルとの比較について

## GRCパネル



- ・GRCパネルとは、耐アルカリガラス繊維で補強したセメント製品であり、強靱で高い耐久性を持ちます。
- ・自然石や木目調等の模様を自由に表現することができ、さらに表面に塗装を行うことで優れた質感を表現することができます。
- ・塗装面については定期的なメンテナンスが必要となります。

## 陶板タイル



あいじゃくり形状のサンプル



※試し焼きの陶板タイルサンプル

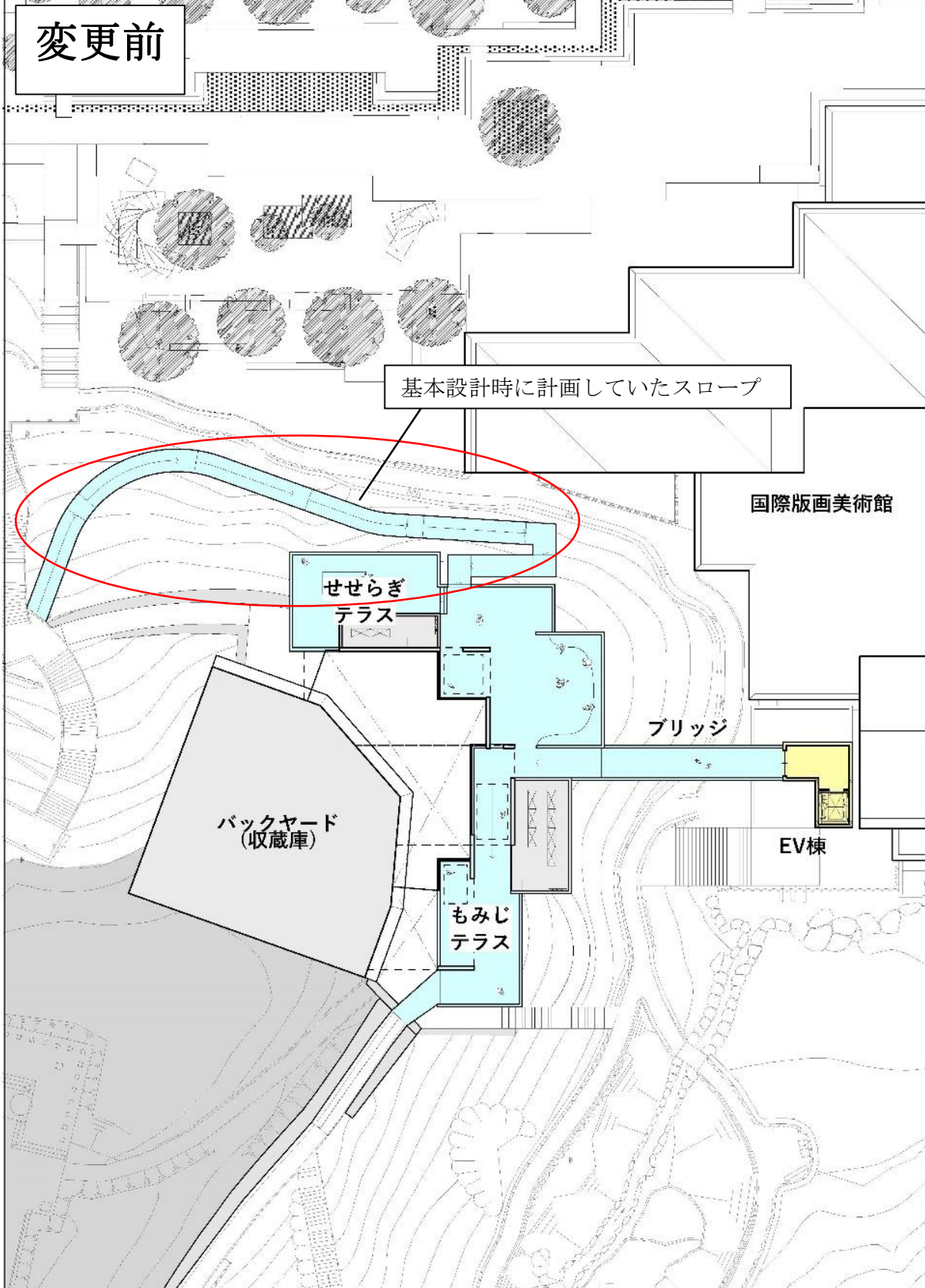
- ・陶板タイルは、粘土を主原料として焼き上げた製品です。耐久性についてはGRCパネルと同等です。
- ・無釉薬の製品を使うことで、色むらや素材自体の凹凸具合の差異が生じ、外装面の表情に変化が生まれます。
- ・塗装の必要がなく、自然の風合いを生かすため、GRCパネルに比べて塗装のメンテナンスコストを抑えることが可能です。
- ・工芸美術館では、工事中に掘削した土をタイルの表面にまぶしてタイルを焼成することにより、この地域の素材の色を生かした風合いにすることができると検討を行っています。



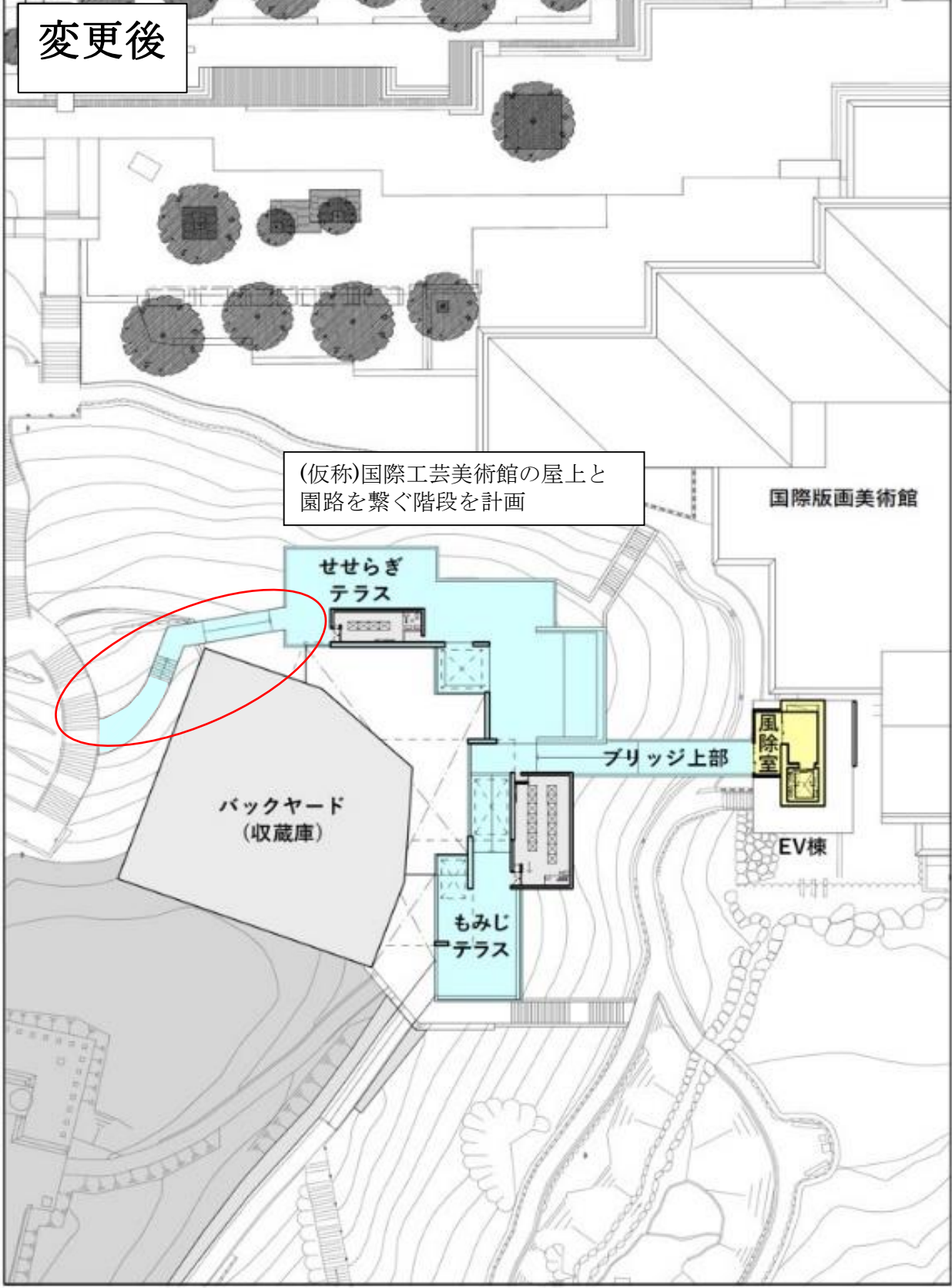
# 建物東側スロープの中止について

GL+17200：工美2F/屋上園路フロア

■ 屋内 ■ 屋外(屋上) ■ 半屋外



GL+17200：工美2F/屋上園路フロア









スロープ変更範囲